

## あかつき



## スポット

- ・ 新年あいさつ
- ・ 事業所紹介
- ・ コロナ禍の行事・活動
- ・ 研修報告
- ・ 新人紹介

第80号 二〇二一年一月二三日発行  
 発行／編集 社会福祉法人あかつきコロニー  
 〒二〇八〇〇三三 東京都武蔵村山市伊奈平一六四一  
 ☎〇四二一五六〇一七八四〇  
<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

撮影：目覚め（奥山 茂：瑞穂町福祉作業所さくら）

就労移行支援・就労定着支援セルフあかつき 就労継続支援B型あかつき授産所 就労継続支援B型スペース・まどか 就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所さくら 瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみ 武蔵村山市障害者就労支援センターとらい 瑞穂町障害者就労支援センター 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業あかつきコロニー相談支援センター



あけましておめでとうございませう。昨年の事を思い返すと、中国を端に世界中に拡大した新型コロナウイルスの話は避けられないでしょう。年明け早々に国内でも少しずつ感染の報告がされる中、一月下旬にクルーズ船内の感染が判明しました。横浜港に停泊・隔離された様子が連日テレビで報道され、それまで抱えていた日本でも起こり得る感染爆発への漠然とした不安が一気に身近なものとなりました。WHOによる世界的緊急事態宣言からのパンデミック宣言、世界各国は次々にロックダウン、これにより経済活動も停滞しました。日本でも一向に収まらない感染拡大に歯止めをかけるべく、四月に緊急事態宣言が出されました。国は外出自粛、経済活動の縮小等の協力を要請し様々な支援策を打ち出しましたが、国民の生活を保障するには充分とは言えず、経済活動と感染拡大防止の両立を試みるも、経済活動再開の結果はといえば周知の通りです。年末にかけ感染拡大は更に勢いを増し、安心できぬままでの年明けと

なりました。一方で、欧米ではワクチンの接種が始まり、日本でもワクチン接種が始まる予定です。ようやくコロナ感染収束への光が見えてきたとも感じています。厳しい状況が続いていますが、引き続き感染予防対策に努めてまいります。皆様にはご不自由をおかけしますが何卒宜しくお願い致します。

さて私事になりますが、実は昨年に自身の工場を整理しました。埼玉県は三郷市に亡き父が約五十年前に設立した工場です。丁度あかつきコロナの建築と重なり、当時法人の理事長を務めていた父は両方の建設を同時に進めてきたわけですが、交通の便も今ほど発達していなかった当時、その作業は大変だったと推察します。北海道出身の父は主にサッポロビールの仕事を扱っており、ビール瓶の蓋を製造する工場でしたが、やがてビールは瓶から缶が主流となり、年々数が減少し利益が出なくなり、そこに追い打ちをかけるように不良を出してしまいました。当時、その工場をどうやっ

て採算ベースに乗せるかが私に課せられた大仕事でした。十数人の従業員を抱える中で決断したのは新たな業務への転換でした。ビール瓶の蓋を止め、建築工場に使用しているバリケードの製作を始めたのです。それと同時に父の友人からビールの見本缶製造の話が舞い込んできました。当初はサッポロの見本缶のみ扱っていましたが、アサヒのスーパードライ新発売を機に各社でドライを冠した新製品が次々と発売され、新たな見本缶の需要が出てきました。これをきっかけに、大和製罐という大手缶メーカーの紹介を受け、各社の見本缶も手掛けるようになり、忙しくなり、私も殆ど毎日工場のラインに入りました。そこから数年間は、自動化を進めるための設備投資を行い、かなり利益を上げるようになりました。そんな折、社会では未成年の飲酒・喫煙が大きな問題となっていました。当時は誰でも自由に自動販売機でビールが買える時代でしたが、アルコールとタバコの自動販売機販売は姿を消しました。これに伴い会社の仕事も急激に減りました。しかし完全になくなったわけではなく、お中元やお歳暮の見本缶の展示品用として、又、絶えず新製品が出るので、その都度見本缶を



作っていました。そのような中、平成30年の秋の台風が工場の解体を決断させました。台風による水害に遭ったのです。それから一年かけて解体が終了したのが昨年の三月です。私が何故、こんなことを書いたかという、あかつきコロナも建替えの時期に来ているからです。設立からのほぼ半世紀と、解体・建替えに親子2代で関わっている事に不思議な縁を感じています。

あかつきコロナは障がい者の就業の場として長く印刷や自動車部品のエレメント等行ってきました。ただ印刷はコンピューターの普及により段々少なくなってきました。また、二〇三〇年代半ばまではガソリン車の新車販売が出来なくなる見通しです。環境問題から国際的にも自動車産業は急激に電氣化を進めており、日本も追

従する形です。現在行っている自動車オイルエレメントの組立はサ―ビス部品の為、急に需要がなくなりほしくないようですが、そうなるのも遠くない将来でしょう。時間がある今のうちから準備は必要です。何かを進めるにあたり、当初想定していなかったような問題は起こるものです。自身の経験から何事もスムーズに事は運ばないようになってきているものです。直面する一つ一つに向き合い、解決していくしかありません。その過程は時に困難で厳しいかもしれませんが、目的達成のための試練と捉えていくしかないと思います。そしてきちんと向き合うことで大抵のことは何とかなるものです。あかつきコロナは変革に向けてこれから重要だと考えています。



あかつきコロナーは今年で53年目を迎えます。3年前に50周年を迎えましたが、つい昨日のような感覚であり、年月が経つのは本当に早く感じます。

がい者支援を営む福祉施設においても難しい施設経営が求められています。

本年も皆様のご指導、ご協力のもと障がい者の自立支援、就労支援に尽力してまいりますのでよろしく願っています。

あかつきコロナーでは現在8つの事業を運営しています。昨年の緊急事態宣言時の対応は、相談支援系の計画相談事業と2つの障害者就労支援センターでは、在宅勤務や電話での面談等の対応を行いました。一方障がい者の日中活動の場となつてい

る5つの施設では、施設の形態や利用者の状況により対応が変わっています。終業を早めた時短営業や在宅支援を行い、利用者数を一定まで抑えた施設。また在宅支援を行わず一日当たりの利用者数を調整した施設。

障がい児の放課後活動を支援する施設では学校が休校で、朝から児童を預かる対応を取った施設もあり、拠点によりその対応は様々でした。

多くの職種で時短営業や在宅勤務、リモートによる仕事など感染予防に対応した勤務形態で何とか凌いでいる状況下で、障

援を続けている施設もありま

す。また室内のレイアウトの変更やアクリルパネルを利用し、作業中でも可能な限り密状態の軽減を図り、リモートの環境を整備し、面談等に応用する準備も進めています。しかし介護が伴う施設では身体に触れないと支援ができない状況や障害特性上、マスクが出来ない方もおられ、感染防止対策としては厳しい現実があります。

また、通所型施設は常に開かれた状況があるため、個々の体調管理や感染予防の意識に頼らざるを得ない状況です。

コロナ禍の中、就労支援をどう動かしていくか大きな課題です。

日本経済がコロナ禍の影響で低迷している状況であり、昨年も受注が無くなった作業や材料の入荷等が滞るケースもあり、売上自体が落ち込みました。現場職員の努力ややりくり、取引先の好意等で何とか一定の作業は確保してきましたが、現在でも厳しい状況が続いています。

一方就職支援も対企業へのアプローチが基本で、昨年上半年はその動きが止まり、下半期に入り応募も徐々に回復してきま

したが、やはり感染が終息しない限り、就労支援全体が停滞気味の状況です。

現状では我慢の時期であり、耐えていくより仕方ありませんが、いつまでもというわけにはまいません。

世代交代と人材育成も急務な課題です。私も今年で59歳になりますが、現経営陣の高齢化が進んでおり、次世代へ繋いでいかななくてはなりません。数年前から人事で引き上げを行ってき

ましたが、昨年10月には3名を課長職への昇格を実施し、管理職の人数を増やしました。いずれも有望な人材で、実践と研鑽を積んでいただき、数年後には経営の中心として力を発揮して

いただきたいと思います。

また世代交代は法人全体の人材の底上げが必要です。昨年から研修委員会を立ち上げ、より内部研修の充実を図るため、講師派遣制度の活用や部署ごとの勉強会等、非常勤職員も参加していただき取り組んでいます。

外部研修の参加はコロナ禍の影響でほとんど開催されない状況でしたが、逆にオンライン研修が盛んに行われるようになり、職場で受講ができるので、

以前より参加しやすくなっている状況があります。現場職員だとなかなか外部研修は参加が難しいので、コロナ終息後でも、オンライン研修は続けていただきたいところでは

最後に建て替えについて触れたいと思います。既に準備は進めておりますが、本年度は更に具体的な事業計画や、新たに行う予定である生活介護の構想等

考えていきたいと思

しかし、各業界に渡るコロナ禍の甚大なる影響が、今後どのような形で私たちに厳しい現実を突きつけてくるか計り知れません。ひとつひとつ慎重に確認しながら、目に見える形にして

いきたいと考えております。

丑は十二支の二番目で、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされており、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくといわれています。

次世代を担ってくれる若き後継者達に、確固たるものを残していく事が現経営陣の役割だと改めて強く感じております。

就労移行支援・就労定着支援

## セルプあかつき

支援員 細川 大貴



就労移行支援セルプあかつきでは一般就労に向けた様々なプログラムを実施しており、その内容をご紹介します。

### ① SST

ソーシャルスキルトレーニングの略でビジネスマナーを中心とした生活技能訓練を行っています。例えば、挨拶の練習一つにしても、ドアの開け方はドアをノックしてから「失礼致します。」人の後ろを通る際は「後ろ失礼致します。」等、様々な挨拶の練習があります。また、ビジネスマナー本を用いて、就職にあたって必要なスキルや知識を身につけていきます。



### ② OW・MWS(幕張版ワークサンブル等、事務補助系の実技訓練)

実務作業として、引き出しピッキング、ナプキン折り。重量計測、プラゲタップ組み立て。数値チェック作業。物品請求書作成。ラベル作成ワード文書の入力を行っています。

### ③ 喫茶訓練「茶花」

武蔵村山市市民総合センター内の喫茶コーナー「茶花」にてお客様への料理提供や皿洗い、テーブル拭き等を行います。お客様が来店された際は「いらっしゃいませ」や、お客様が帰られる際は「ありがとうございました」等、発声も営業時間中に行っています。喫茶訓練を行う事によって、実際に飲食店等に就職した際に、必要な能力や知識を活かせる事が出来ます。

### ④ 施設外就労

施設外就労では、「株式会社いなげや」が運営する農園で、しいたけの計量、パック、帯止めの作業を行います。現場では実際に「株式会社いなげや」の

従業員の方も居る為、実際の社会を肌で感じて体験出来る場となっています。



### ⑤ 配達業務

武蔵村山市から委託されている紙オムツの配達となります。武蔵村山市内の紙オムツ給付を利用されている方のご自宅へ配達しています。利用者さんも車に同乗して、紙オムツが入った段ボールを運び、お客様へお渡しします。その際、お客様のインターホンを実際に押して頂き、「ごめんください、市役所からのお届け物です。」と、挨拶もして頂きます。  
また、伝票に「こちらに印鑑かサインをお願いいたします」と受領印も頂いております。この配達の一連の流れを訓練として行っております。

### ⑥ 介護用品ピッキング作業

お客様それぞれ、ご依頼頂いている紙オムツの内容が異なる為、それぞれ紙オムツの仕分け作業をして、段ボールやビニール袋に梱包する作業をしています。利用者さんが紙オムツの種類、数量を用意し職員が最後に検品します。



### ⑦ 清掃レクチャー

実際に清掃会社の講師を招いて指導して頂きます。テーブルの拭き方や、雑巾の畳み方、モップのかけ方、自在ほうきのかかけ方、水モップのかけ方等、実際に就職してから清掃業務は必要不可欠な業務の為、利用者さんに細かく指導して頂いております。

### ⑧ スタディ

漢字やひらがなの読み書き、足し算引き算の計算など行います。また、時計の見方が苦手な方は、職員と一緒に時計の針を動かしながら確認します。

### ⑨ 栄養講座

日常生活を健康に送る為に、必要な栄養バランスなどを栄養士から指導して頂きます。風邪予防には、どのような栄養が必要なのか、又、3食きちんと食べることの大切さを、教えて頂きます。

### ⑩ 運動

体を動かすことによって、健康な体を維持することが出来るため、月に一度運動を行っています。体育館へ行き、ウォーキングやバトミントン、卓球などをします。天気の良い日には、六道山公園をウォーキングします。気分転換にもなり、気持ちが良いです。  
これらのプログラムを通じて、就職する為の知識やスキルを身に付け、日々訓練に励んでおります。

# コロナ禍の行事・活動

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していたあらゆるイベントを中止せざるを得ませんでした。

しかし、外出しなくても、楽しめることはある!! ということで、各事業所では様々な趣向を凝らして室内で楽しめるイベントを企画しました。

例えば...

**法人施設**では、ちょっと...??否、かな〜り豪華なお食事会。  
普段はなかなか食べられない高級食材を使用したお弁当を皆で頂いたり...



お〜いしい〜



**さくら**では、シールアートやキャンドル作り、絵手紙の製作等...、  
“THE! ART” な創作活動に取り組んだり...



うまくてきたっ!!



**あゆみ**では、ミニ運動会や音楽会、演劇等々、  
毎月職員で様々なおたのしみイベントを考えて開催し、皆で楽しみました。



たのしい〜

疫病退散





## 職員向け研修

「成年後見制度の理解」を  
開催しました

総務 課長 利根川正

11月19日に東京都社会福祉協議会の登録講師派遣事業を利用して、職員向け研修『成年後見制度の理解』を開催しました。

研修委員会がスタートしてから初めて行う研修で、事前に職員アンケートを行い「興味がある」に○が多かった『成年後見制度について』を研修のテーマに選びました。

本来であれば非常勤職員も含めた全職員を対象としたかったのですが、コロナ感染予防として3密を防ぐため今回は職員のみを対象としました。また、研修会場を本部和瑞穂町福祉作業所さくららの2か所に分けることで、職員数を分けて職員間の密も防げるよう配慮して行いました。

講師には、福祉専門学校の非常勤講師をしながら実際に後見人も務められている仙北屋先生にお越しいただきました。先生は多方面から研修の依頼を受けることが多

いとのことで、PCR検査の陰性結果を提示して下さったり、電車の移動の際は着替えを持ち歩いたりとコロナ感染対策は万全で、こちらとしても安心して講師をお願いすることができました。

事前打ち合わせでは前半が講義、後半がグループワークを行う予定だったのですが、研修の前日に東京都内でコロナの感染が急拡大したというニュースを受け、急遽グループワークを中止し、講義と質疑応答の2つに内容を変更していただきました。先生は突然の変更依頼にもすぐに対応して頂き、とても有難かったです。

研修の内容は、成年後見制度とは何か、後見人の役割、申立ての流れなどの基本的な内容から、成年後見制度を用いることのメリットデメリット、先生の後見人としての経験談などとても分かりやすく、興味深い内容でした。

あかつきコロナの利用者の中でも、高齢の方や、独り暮らしの方、親御さんがご高齢の方など増えてきています。後見人の利用を検討したり、実際に後見人の利用を開始するケースもありました。そのため、支援する職員にとって成年後見制度についての知識は必要不可欠なものになってきています。

研修後の職員アンケートでは「とても勉強になった」「今後の支

援に活かせる内容だった」「後見人の役割や大変さも良く分かった」「また研修を開いてほしい」といった内容が多く書かれていました。

私自身も今回の研修で得られた知識を今後の支援にも活かしていきたいと思えます。



JD障害者権利条約をめぐる  
いまを学ぶ

オンライン学習会  
総務 事務局長 遠藤 至子

4回シリーズで開催されているJD障害者権利条約をめぐるいまを学ぶプロジェクトの、第1回「JD Fパラポ2を学ぶ、人権指標の概要」、第2回「事前質問事項への締約国回答の概要、人権指標を学ぶ」に参加しました。

日本は2014年に障害者権利条約を批准しました。条約の締約

国は権利委員会の審査を受けるのですが、これが今年行われず。権利委員会は日本が国内法や施策の改善に取り組んでいるかを審査して、改善点をまとめた総括所見を出します。この総括所見を受けて日本は改善に取り組むという流れになります。その審査での判断材料として、政府報告書とは別に市民レベルで国の問題点を報告するパラレルレポートがあります。そのパラレルレポートの検討を続けてきたJD F（日本障害フォーラム）がこの度固めてきた内容について話を聞ける貴重な機会となりました。

今回の学習会で、障害者権利条約人権指標という聞き慣れない言葉についても知ることができました。この人権指標は、障害者権利条約を実施している進捗状況を追跡するツールで、権利条約の条項毎に、国の定めた人権を保証するための法や政策を評価する構造指標、その法や政策の実現に向けた努力を評価するプロセス指標、その努力の結果を評価する成果指標という3つの指標により評価出来るようになっていきます。今後、日本を含めた締約国の人権条約履行状況もこれを基準に審査されることとなります。人権指標は締約国

にとって権利の実施に向けた取り組みの指針となり、条約の規程の理解と実施の促進が期待されます

し、国の進捗状況を監視し、問題提起する上で市民団体側にとってもこの指標は有効なものになります。権利委員会はこういった仕組みを構築し、条約の実施と継続的な改善に向けて取り組んでいるのです。

パラレルレポートの内容を聞く中で、インクルーシブという点に於いての特別支援学校（学級）や特例子会社の位置づけ、成年後見制度に於ける代理という考え方に對する指摘について考えさせられましたし、改めて日本の障害福祉施策を人権という視点からとらえると、これまでとは違う見え方で気付かされることもありました。

インクルーシブな社会は、あらゆる人達の権利が守られる社会に通じるのだと理解しています。これを進めるには社会的なシステムだけでなく、他者に対する人権感覚の醸成が大切だと思います。

今回はリモート学習会という事で、時間も比較的確保しやすいという利点がある一方で、当たり前のことですが、業務の場と学習会の場の切り分けをしないと折角参加しても集中できないという面があります。実はシリーズの中で一番関心のあった2回目の学習会は残念ながら集中して視聴することが出来ず、自身にとっても中途半端な感じが否めずいます。この点は反省です。

# 新 人 紹 介



作業部3課  
田中 駿佑さん

■ 8月からお世話になっております。以前も就労支援施設にて勤務しておりました。趣味は音楽鑑賞です。職員の方々・ご利用者の皆様とでも明るく楽しく仕事させていただいております。日々勉強・経験を積んでいきたいと思っています。よろしく願い致します。



セルフあかつき  
澤田 恵利さん

■ 令和2年の8月からセルフに入所しました。好きなアーティストは、水樹奈々とハロプロと22/7が好きです。セルフあかつきで経験を積んで自己肯定感を上げていき、日々色々学び就職目指していきたいです。



スペース・まどか  
小野 緑さん

■ 9月上旬から正式利用させて頂いております。作業を早くマスターし、忘れないことを意識しています。職員の方が親身に相談に乗って下さり、配慮は働きかけをして下さる部分、本当に感謝です。一般就労に向けて奮闘します。



スペース・まどか  
松元 伸也さん

■ 10月から勤務させていただいております。これまで全く異なる仕事をしていましたので、まだまだわからないことだらけですが、皆様に教えていただきつつ、頑張りたいと思います。よろしく願いします。



スペース・まどか  
齊藤 弘之さん

■ 9月14日から入りました。日本代表のサッカーと野球が好きです。好きな食べ物はカレーと甘いものです。人と話をしたりするのが苦手なのですが、皆さんよろしくお願ひします。



さくら  
本橋 昇さん

■ 11月より勤務しております。福祉関係の仕事は全くの初めてで不安で一杯でした。皆様のご指導・ご助言により、どうにか丸一ヶ月が過ぎました。まだまだ色々不安はありますが、頑張っていきたいと思っています。よろしく願い致します。



さくら  
佐渡 悠希さん

■ 8月から勤務している「さわたり」です。特技は25年続けている剣道です。さくらのご利用者や職員はとても温かく、毎日楽しく仕事をしています。「共に笑う」をモットーに、これからもよろしくお願い致します。

## 主 な 事 柄

### 8 月

1 水質検査 (法人施設)

3 武蔵村山市立第一小教諭実習 (5日迄) 授産所

4 村山特別支援学校教諭見学・講演会 (セルフ)

11 あゆみ地震避難訓練 (タイムケア)

14 あゆみ地震避難訓練 (地活)

18 防水修繕工事 (法人施設)

22 夕涼み会 (あゆみ)

25 研修委員会

### 9 月

12 あゆみ地震避難訓練 (タイムケア)

14 防火設備点検 (法人施設)

18 防火設備点検 (あゆみ)

24 利用者健康診断 (法人施設) 25日迄

28 保護者会 (さくら)

29 地震避難訓練 (法人施設)

### 10 月

2 PCB撤去作業(法人施設)

7 第三者評価説明会(さくら)

14 テレビアンテナ工事 (法人施設)

20 健康診断(さくら・あゆみ)

23 法人施設火災避難訓練  
28 ISO内部監査  
(授産所一課)

26 武蔵村山市自立支援協議会  
(藤澤・富田)  
27 地域福祉計画策定懇談会  
(高橋・富田)

(遠藤 30日迄)  
武蔵村山市就労支援部会  
(小俣・富田)

12月  
1 地域福祉計画策定懇談会  
(遠藤)  
8 相談支援従事者初任者研修  
(増測 9日迄)

大木 優弥(セルプ)  
渡部 幸司(授産所)  
11月 荻部 雅子(授産所)  
長田 文寿(セルプ)  
12月 遠藤 勝徳(まどか)

29 研修委員会  
取り調査 (さくら)

27 WIIJ会議 (高橋)  
14 ゼンコロ運営委員会 (遠藤)

9 改正食品衛生法セミナー  
(大月)

11 精神業務連絡会 (藤澤)  
15 相談支援従事者初任者研修  
(戸村 16日迄)

12月18日、福祉センターあゆみにおいて、イオンモールむさし村山様よりクリスマスプレゼントのご寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。

寄贈

11月

2 ボイラー切り替え (法人施設)

2 JD権利条約学習会 (遠藤)

10 東社協総会 (永井)

16 瑞穂町自立支援協議会 (西出)

11月

14 乾燥機設置工事(授産所)  
お楽しみ食事会 (法人施設)

17 瑞穂町生活部会 (高橋)  
24 就労ネットワーク会議 (西出・小林)

13 精神業務連絡会 (藤澤・富田)

24 就労ネットワーク会議 (茂木・小林)

11月

20 第三者評価訪問調査 (さくら)

16 JD権利条約学習会 (遠藤)

9 地域福祉計画策定懇談会 (遠藤)

15 相談支援従事者初任者研修 (戸村 16日迄)

11月

26 第三者評価訪問調査 (さくら)

17 瑞穂町生活部会 (高橋)  
24 就労ネットワーク会議 (西出・小林)

10 東社協総会 (永井)

16 瑞穂町自立支援協議会 (西出)

11月

30 理事会 (決議の省略)

29 お伊勢の森運営協議会 (熊谷)

19 社会福祉法人連絡会全体会 (五十嵐・戸村・西出)

8月 田中 駿佑(授産所)  
澤田 恵利(セルプ)

12月

1 さくら火災避難訓練  
虐待防止マネジャー会議 (瑞穂チーム)

9 精神業務連絡会 (藤澤)  
ゼンコロ報酬改定学習会  
相談支援従事者初任者研修  
(戸村・増測)

20 JD権利条約学習会 (遠藤)

9月 小野 緑(まどか)  
齊藤 弘之(まどか)

12月

18 虐待防止マネジャー会議 (武蔵村山チーム)

21 あゆみ指定管理選定委員会 (高橋・五十嵐)

24 ゼンコロ発達障害者支援研修 (利根川・齋藤・押川・加藤・遠藤)

10月 松元 伸也(まどか)  
11月 本橋 昇(さくら)

12月

22 研修委員会

22 瑞穂町就労部会 (西出)  
就労ネットワーク会議 (茂木・小林)

25 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)

8月 小室 貴士(授産所)  
岡野翔太郎(セルプ)

12月

21 精神業務連絡会

27 武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)

10月 畠山 博美(まどか)  
10月 杉本 敬子(セルプ)

12月

18 虐待防止マネジャー会議 (武蔵村山チーム)

22 瑞穂町就労部会 (西出)  
就労ネットワーク会議 (茂木・小林)

25 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)

8月 小室 貴士(授産所)  
岡野翔太郎(セルプ)

12月

21 精神業務連絡会

27 武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)

10月 畠山 博美(まどか)  
10月 杉本 敬子(セルプ)

12月

18 虐待防止マネジャー会議 (武蔵村山チーム)

22 瑞穂町就労部会 (西出)  
就労ネットワーク会議 (茂木・小林)

25 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)

8月 小室 貴士(授産所)  
岡野翔太郎(セルプ)

12月

21 精神業務連絡会

27 武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)

10月 畠山 博美(まどか)  
10月 杉本 敬子(セルプ)

12月

18 虐待防止マネジャー会議 (武蔵村山チーム)

22 瑞穂町就労部会 (西出)  
就労ネットワーク会議 (茂木・小林)

25 武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)

8月 小室 貴士(授産所)  
岡野翔太郎(セルプ)

出張・研修

入所・退所

編集後記

皆様、あけましておめで  
とございます。  
新年号をご覧頂きありがと  
うございます。  
昨年から続く新型コロナの  
猛威にどこも厳しい状況が  
続いています。皆で乗り越  
えていきたいと思ひます。  
本年も宜しくお願いします。  
(E.M)